

ささえあい

No.27

発行／前橋・在宅ケアネットワークの会
 事務局 〒371-0017 前橋市日吉町2丁目17番地10(前橋市総合福祉会館内)
 TEL/FAX 027-235-6283
 受付時間帯 9:30~12:30
 郵便振替口座 00150-2-155119



東地区 地区活動支援の 東部地区 フリーマーケットを開催

九月十四日、朝日町の加藤外科内科
 医院駐車場と箱田町のKマート跡地に
 おいて、朝九時から夕方四時まで当会
 で初めてフリーマーケットが風の強い
 青空の下で行われました。とにかく一
 言で言うと終わってホッとしたとい
 うのが本音です。しかし、やって良か
 ったと思いました。

市内東地区と東部地区との二カ所同
 時開催で行われたもので、準備の時点
 でお互いの進展の情報が伝わりあ
 中、日一日と盛り上がるの様相が漂っ



朝日町会場

てきました。

東部地区会場

地元東部地区では会員がチラシを八
 百部も一軒一軒配布し、八月二十一日
 の地区例会では、神林さんの提案で朝
 日町と三河町に町内の回覧板を頼んだ
 ところ「在宅介護支援センターいしか
 い」の協力も得てすぐ実現しました。
 また、東部地区や「デイあさひ」でも
 出店しようとさらに盛り上がり、名札
 つけバザー経験のある下山さんの知恵



光が丘町会場

ふれあいの 広場

冷夏の後の厳しい残
 暑、そして一気に秋の
 冷え込みと、今年の気
 象の変調には、体調も
 とまどい気味です。

敬老の日に、高齢者
 の比率が十九%を越えたと、総務省が
 伝えています。四人に一人が高齢者に
 なる日も、そう遠くないでしょう。急
 進する高齢少子の対策が、後手後手に
 回っているため、老後の不安が拡大し
 ています。

九月二十日自民党総裁選に小泉さん
 が圧勝し、続く組閣には小泉流を發揮
 して、思いがけない人事となりました。
 さてこの新内閣は、この国をどのよう
 にリードしてくれるのでしょうか。領
 土問題・拉致問題・不審船対処にみら
 れる国防の不安定さ、倫理道德の崩壊
 と不良外人に起因する治安の悪化、税
 制・年金・医療・福祉・失業等を含む
 経済の落ち込み、他国からの侮蔑や内
 政干渉を排除する国家主権の確立等、
 対処すべきことは山積みです。

ここに来て、衆議院は十一月に総選
 挙になりました。国民の審判はどうな
 りますか、内閣の顔触れが変わること
 も起こります。何はともあれ、国民の
 不安を解消し、国益を追求する内閣で
 あってほしいものです。

(意志)



晴天に恵まれた

を借りて一つひとつ準備が進みました。前日には力石さん石川さんの力で地域の協力者に道案内の看板をお願いすることができ、あとは近ずいている台風がそれるだけとなりました。

当日は、山村・荒木・三森でテント張りから始まりました。そして八時にお知らせのため朝日町一丁目自治会の宣伝カーが出勤。関根さんが声を震わせ町内を巡回、九時開店となりました。

出点ブースは予定の十四と飛び入り合わせて十五店でした。風の吹く中、開店直後には地元の方々の姿がたくさんあって、品物のやり取りがあちこちで見られました。



アコーディオンのライブも

地元ブースでは時として「シャシャシャン・シャシャシャン・シャシャシャン・シャシャン」と売り上げも好調の様子でした。

また、カラーセラピーなるものも登場し、取材の群馬テレビの若い女性も興味をもたれているようでした。

のぼりはためく会場に人々の姿がとても印象的でした。

今回場所を貸して下さった加藤先生ありがとうございました。

東地区会場

東地区ではブース八店が出店し朝九時から大勢のお客さんがつめかけて、



頑張った裏方さんたち

風の強い日でしたが、出店者ともども秋晴れの一日を楽しく過ごしました。

会場がとて広いため一軒がブルーのシート一枚以上のスペースがとれ品物を目一杯展示でき、売り手も買い手ものびのびできる会場となりました。

当初は開催場所を地区内の八木医院の駐車場を拝借する予定でしたが、準備の過程でスーパーKマート跡地の地主さんに相談したところ、このフリーマーケットの趣旨に賛同していただき、よい場所を借りることができました。ありがとうございました。

当初、どうしたらいいのかが分からずどうなることかと不安でしたが、準備段階では徐々に盛り上がり、古市いこいの家の関係者で一ブースを出店しました。結果は三万五千円を越す売上げで皆さん喜んでいきます。



地区の人たちも協力

この日はいこいの家利用のお年寄りもお招きし、楽しんでもらい、またいつも音楽指導していただく塚田元二先生のアコーディオンのライブ演奏もお願いしました。皆さん輝いていました。

準備を進めてくれた荒木さん、裏方で設営に尽力された若ネットの皆さん、ご苦労様。また来年もやりましょう。



8月例会が開かれました

暑気払い

恒例になった暑気払いを八月三十日(土)十二時三十分より市内日吉町のスワン・PARTY・INに、三十人が集い開催しました。

当会は、ささえあい活動に、また各種の専門分野で会員の皆さんが活躍されていますが、なかなかゆつくりと交流・懇親の機会がもてない現状にあります。

そこで一年に一度になりますが、真夏の中、懇親会形式の例会を設けています。

受付け、席順等についても参加者の協力で開会し、初対面の方々の名刺交換など活発に行われ和気あいあいの雰囲気で行いました。

この日は、お好みによりアルコールもあり飲み物については、自由選択で飲み放題、そしてナイフ、ホークを使つてのリッチなメニューに舌鼓をし、リラックスした気分で明日への英気補給に効果があったと思います。

予定の二時間もあつという間に経過して、なごり惜しさもありましたが、さわやか気分で散開しました。

今後とも、会員相互の交流をより深められる場づくりを皆様のご協力を得て実施できますよう期待したいと思えます。

ネットワークの強化を

運営委員会 報告

運営委員の推薦等について協議

九月二十二日(月)午後七時から前

橋市総合福祉会館作業室において、運営委員会を開催しました。

今回の議題は、

- 一、フリーマーケットの報告
- 二、運営委員の紹介と事業分担
- 三、十月定例会の検討
- 四、事務局からの連絡事項
- 五、その他

七月の理事会において、運営委員の推薦について協議され、新たな運営委員として位置付け活躍いただくことになりました。また運営委員の規約については作成し後日提示することになります。

ました。運営委員の構成は、理事二十二人、監事二人そして推薦された二十二人で合計四十六人になります。(未確認者がおりますので何人か増えると思われる)

当前橋在宅ケアネットワークの会の運営等について踏み込んだ意見交換の展開が望まれ、知恵を出しあった実践活動が大いに期待されることになりました。運営委員の自己紹介の中でも、協力は惜しまない等々前向きで、かつ頼もしい意見も多々ありました。

当会の目的である「高齢者が生活しやすいまちづくり」にむけての発信地としてネットワークの強化が図れることとなります。

推薦された運営委員さんの紹介

(敬称略/順不同)

郷幸男、須田和也、門倉美幸、池田美智子、荒木雅之、山田圭子、岡庭とも子、川崎理、塩沢道夫、木暮一誠、木村健二、金井徳雄、木村なつ子、五十嵐ハナ、神久透、平田賢治、山崎文子、山村慶広、戸所美恵子、木暮米代、樋口信江、小室八重子、
(他確認がとれましたら次回ご紹介したいと思えます)

第10回 定期総会 (5月10日)

記念講演 抄録

痴呆は人間的過程である
—混迷の時こそ原典から学ぼう—

吉野 昭男 先生

本会の第十回定期総会では会員で精神科医の吉野昭男先生が記念講演を行いました。この講演には精神医療関係者の方が多く聴講参加していました。以下、抄録を掲載します。

今後の施設処遇の形態はグループホームが主流となるようです。その最大の理由は特養ホームが理念の上からも現実的なコストの点からも設置が困難になると見込まれるからです。

理念の問題としては、処遇方法が本来十人十色であるべきところを、十把一絡げになりやすく、一人一人の個性がないがしろにされやすいという点がよく指摘されてきました。それに対する方策の一つとしてユニットケアへの取り組みがなされてきております。これは入所者を十人未満の単位、つまりユニットに分け、職員もそれに対応したチームで処遇していこうというものです。

この方法の優れている点は、入所者も職員チームも、それぞれの間で、メンバー交換が可能であるということが



あげられます。利用者にとっても、職員にとっても最適な環境を設定することは、重要な課題です。各ユニットの人々が一堂に会して、時には大きなイベントを盛り上げるのも、有意義なこととなるでしょう。

しかし、ここで非常に大切な点が欠落していることが明らかになってきました。個性尊重というとき、その原点となる完全な個室の存在です。当然、それに対する要求は今後強まりこそすれ、弱まることはないでしょう。

無論その建設には、これまで以上のコストがかかることは明白です。そして、その実現を待つのは、百年河清を俟つが如きものでしょう。日本の経済情勢の暗さや、特養入所待機者の数の多さに、圧倒されつつ近い将来の実現は諦めざるを得ません。

まさにそのような状況の中で、グループホームは燎原の火のごとき勢いが増加してきております。一施設九人で三ユニットまでの建設が許可されました。合計で二七人入所可能です。小型の特養と言えます。あまりの急増ぶりに、建設に歯止めをかけようと県の担当課は一施設二ユニットまでに制限しましたが、とき既に遅しとならねば良いのですが。時たま外部評価をする程度で、その質が確保されるものでしょうか。特養ユニットケアではある程度相互批判や討論を通じて改善や向上が図れる可能性はあります。しかしグループホームは小規模故の利便性にもまして密室性に基づく弊害の方が懸念されます。四〇パーセント近くの開設主

体が営利法人なもの、この懸念を強めさせます。当初は、少なくとも外面的には立派であっても、相互監視的基盤をもたない密室的施設には、NPOなどの外部評価システムが随時訪問できるようにして、利用者の立場から意見を述べるようにしたいものです。

最も問題な点は、ホテルコストが月額十二〜十三万円かかり、他に介護保険の一割負担金が加算されるといふ点です。医療保険における高齢者の一部負担金が一割となったのも、介護保険の一割負担から当然のごとく変更になったわけですが、グループホームにみられるホテルコストや営利企業の参入の問題は、医療の世界で今最大の問題となっている、混合診療や株式会社での経営する医療への突破口になりかねません。国民的議論や合意を経てそれを選択するのなら良いのですが、最近の風潮と同じく、なし崩し的にそのような方向へ行ってしまつて、悔いを残してしまうのではないかと、大いに危惧されてしかたがありません。

介護保険実施三年を経て、明らかになつてきたことの大きな部分は、施設希望者が非常に多いこと、裏返せば在宅の基盤は予想以上に崩壊していること、それはとりもなおさず共同体が崩

壊していること、介護申請者の半数以上は痴呆が認められること等でありましよう。

これらの事実に応えるには、全個室等の、利用者の要求を取り入れた特養の増設こそが望ましいわけですが、今や財政基盤がありません。グループホームは世界の趨勢である、個性を大切に施設として理想的である等のキャンペーンを展開しながら、その急増が民間に投げ出されたわけです。

この事態はかつての精神病院建設ラッシュを思いおこさせます。企業的か

痴呆のお年よりは服薬が困難です。

八月中旬、他事業所のケアマネジャーからの依頼でAさんを訪ねました。軽い痴呆のあるAさんは一人暮らしで、薬の管理が自分でできず、生活が昼夜逆転している傾向が顕著です。

訪問は、経験豊富なボランティアのBさんと会事務局長のCさんを伴って伺いました。

医師から処方された薬はいわれた通りにのまないとい、の説明をすぐ理解してくれ、夕食後の服薬のためBさんが明日から伺うこと、またお世話になるのだからお礼も必要です、などの説明を正しく了解して貰いました。

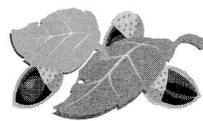
[事例報告]

服薬支援ボランティアの経験

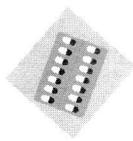
報告・会ケアマネ 三森 和也

つ営利的観点に立った病院群が、いまだに三十三万人の長期在院者を残しているという事実は何を教えているのでしょうか。管理を旨とし、職員と病者の処遇を貧しいままに放置してきた結果であるとは言えないでしょうか。現在の急務は、痴呆をもった病者の介護のあり方を確立することにあると考えます。幸い熱心な介護福祉士等の誕生と成長が益々見られるようになってきた昨今です。

「H・S サリバンは一九二〇年代のアメリカの精神医学者ですが、その代表的な著作に「分裂病は人間の過程である」という古典的名著があります。これを「痴呆は人間の過程である」と読み替えて、今は総合失調症と呼ばれる分裂病と、精神疾患の一つである痴呆の相同性に着目し、その処遇の基本はどうあるべきかについて、サリバンの遺した洞察に注目してみたのが、今回の講演趣旨です。



八月中旬に延べ十三日間の援助が行われました。Bさんはお薬りの話だけでなく他のよもやま話をするのでAさんは元気が出たようだ、と話します。普段はみせない食事を食べる姿もみられ、また昼夜が逆転した生活も改善の方向が見られたといいます。痴呆があり一人暮らしという人は少ないですが、服薬に限らずちょっとした事からボランティアの援助を受入れると、お年寄りの生活は随分変わります。Aさんの服薬援助は本会の福ボラ(有償)で行われました。



地域の情報 リアルタイムで!!

モーニングインフォメーション

あさいち・朝生・情報通 月曜～金曜あさ6:55～

お昼のインフォメーション

GTVニュース 545 600 930 ジャストオカ ●日曜ニュース&スポーツ 夕方6:00～

おかげさまで30年 月曜～金曜 ひる0:00～ OTTO! くんまTV

おまかせ下さい防犯・防災

機械警備 ホームセキュリティ



施設警備 警備輸送

群馬総合ガードシステム(株)

代表取締役 川崎 弘

☎ 027-252-5454(代) FAX 027-251-8388

本社 〒371-0854 前橋市大渡町二丁目1番地の5

東地区 第32回 例会報告

井野川流域の古代文化

元群大教授 梅澤重昭先生

要約 / 本間正三郎



■群馬の風土

群馬に降った雨は太平洋に注いでいます。日本海に流れるのは尾瀬と野反湖の水のみです。分水嶺の三国山脈、名物の雷、カラツ風など群馬の風土形成に大きく影響しているといわれます。

この地の歴史は利根川とその支流がはたした役割りを無視してはたどれません。かつて東京湾に注いでいた利根川を銚子の方に変えたのは、家康の時代です。それに関連して邑楽郡域は堤防に守られる地となり、もともと低い土地で少しの洪水でも被害が出るため自衛のため「水塚」など作られました。

利根川中流域の「東地区」では天狗岩用水や滝川などの開削が大規模に進められています。時代をさかのぼる奈良時代には上野国の中心域を占めて、条里制による土地の開発が大規模に進められた地であります。古墳時代には伊勢湾地域からの開拓者により開発されましたが、その拠点的作用をはたしたのは、日高遺跡のような弥生時代の村々でした。そして平安時代末には火山灰による大災害も克服し、中世には前橋の北を流れていた利根川が今の流路に変遷する自然のいたずらに遭遇し、今日へと続いています。

■前橋のなりたち

さて「東地区」は「前橋台地」という今から二万四千年前、大噴火した浅間山から吾妻川筋に流出した泥流が赤城、榛名山南麓に広がる利根川・鳥川流域の平野部に泥濘原を形成した地層に乗っています。この地層は、県庁裏の利根川の河崖で一〇m余の厚さで、岩神の飛石もその時のものと考えられ、大規模な自然災害であったかが想像できます。

東地区の歴史は前橋台地の堆積層が安定し、地表に枝生が復活し榛名山南麓から流出する井野川や染谷川、牛池川などが侵蝕谷を形成し現在の地形景觀をなしたように考えます。ちなみに岩宿遺跡は前橋台地形成以前の旧石器時代のものです。事実、前橋台地上で見つかっている最古の遺跡は旧石器時代末から縄文時代草創期のものです。

このころから狩猟、漁獵の場を求めて人々は前橋台地に住むようになったと思われまます。縄文時代を通して周囲の丘陵地域に比べると遺跡の分布は少ないが井野川筋に集まる傾向があり、台地を侵蝕して流れる河川沿いに平野林が広がり、中央域に雨水が溜まった湿地が広がっていたからでしょう。

介護保険を利用した

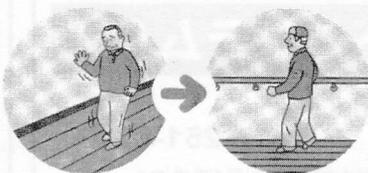
住宅改修の例

(その四)

ケアスマイル 塩沢道夫

介護保険で二十万円までの工事が一割の自己負担にて実施できることは前号までに説明しましたが、もう少し工事範囲を増やし介護保険を一部利用し個人負担をして住宅のリフォームをした例をご紹介します。

Dさんは慢性リウマチ疾患による機能障害もあり、この春股関節の手術をしたのを機に将来のことも考え風呂、トイレ、床を中心にバリアフリー化を目指し自宅のリフォームをすることを決心しました。寝室、居間などは床が畳の和室なのでいたるところに段差が生じており全ての床をフローリングに変更し扉をVレール、つり戸を利用し各所に手すりを設置するなどしてバリアフリー化を実現しました。トイレは寝室から台所をはさんだ反対側で和式、汲み取り式と大変な思いをしていましたが、寝室の隣に移し腰掛けられる洋式水洗とし、浴室も段差が多く危



■井野川流域

弥生時代の遺跡は前橋台地には少なく、あるのは榛名山麓の谷地の多い井野川流域で二〜三世紀時代に急激に拡がっています。弥生式文化の開花した観があります。稲作農耕が発展し鉄器も普及した時代ですが、前橋台地の広大な沖積地帯には水田を開発するような農耕技術を持つ人々の村はなく、未開の畠野が取り残されていました。そこから東方に広がる県南利根川流域の平野は「ケイ」と呼ばれ、さらに毛野と表され、上毛野国となり奈良時代に上野国と定まったのです。

大和朝廷が東国経営に乗り出した古墳時代は、毛野の開発に始まり「前橋台地」を地盤とする首長勢力は前橋神山、將軍塚、倉賀野浅間山の古墳を残しました。その背景には台地の湿地を水田にし、灌漑水路を掘削し、排水路を整備する土木工事が大規模に進められたのです。端氣川、粕川、倉賀野の悪水などの河川の歴史は古墳時代からの土地の開発と深く関わった名ではないかと思われます。

四〜五世紀中葉にかけ「毛野国」ともいうべき「クニ」が成立し、その初期の將軍塚古墳や前橋天神山古墳の後に倉賀野浅間山、太田天神山古墳など

続々造られました。それらの古墳に葬られた豪族達が、大和政権と政治的に連携した東国最大の勢力であったのは、その古墳が東国最大規模の前方後円墳であり、また日本書記に伝える豊城入彦、その子孫彦狭島王や御諸別王の上・下毛野国始祖伝承や東国巡検伝承にもうかがうことができます。

■文化の中心地だった

五世紀後半頃から「毛野」の政権に変化があり大和政権の東国経営による相対的弱体化で大規模前方後円墳の築造は衰退します。しかし、井野川流域にのみそれが残ります。群馬町の保渡田古墳群や高崎綿貫古墳群など全長一〇〇mクラスの古墳が造られました。同時にここに中国や朝鮮半島地域文化の影響が強くとめられ、渡来人の進出、金工芸品が目立つほか乗馬の風習や古墳に埴輪人物像を並べる葬送また横穴式石室の普及も井野川地域を中心に広まったようです。新たな地域発展の大きなうねりが大和政権の後裔もあり、六世紀後半の上毛野国の成立へと結実したと考えられ、それは群馬県域の礎になったのです。

群馬の地名は「馬が群がる」とのこととでなく、五〜六世紀代榛名山麓でこ



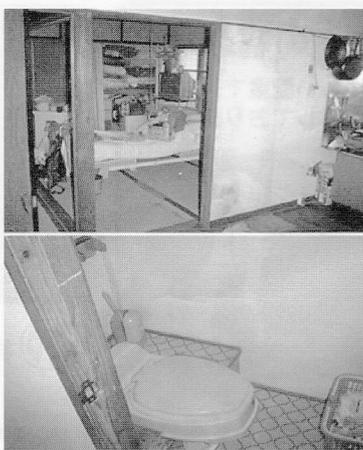
の地域形成に力のあった「クルマ」氏後の「車持氏」の氏族名に由来しており、井野川地域が群馬の由来に深く関わっているということがいえます。

講演に続き、医療トピックスとして中田益充先生より「セカンドオペニオン」と題して、主治医以外の医師の意見を求めることについてのお話がありました。また滝澤康先生からは「骨粗鬆症」についてお話がありました。

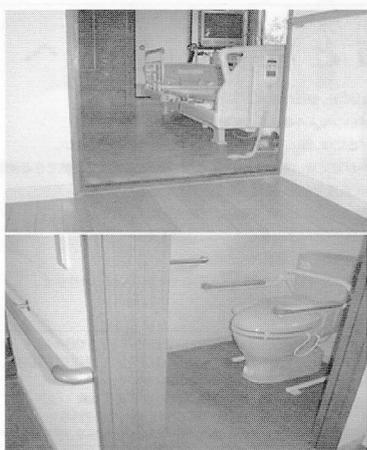
― 講師紹介 ―

学芸員。県埋蔵文化財調査委員会、県教委、県立歴史博物館副館長、群馬大学教授などを歴任、広瀬町在住。

険などで脱衣所床とフラットなユニットに変更しました。住宅改修の助成金制度はいつでも制限がありますが、介護保険の他に身障者対象及び高齢者対象のものもありますので事前に専門家に相談してみましよう。



施工前



施工後

はじめまして

グループリビング

岩神です。

運営委員 金井道雄

私の所では、高齢者の共同生活住宅を平成十四年十一月に開設し、現在二人の利用者の方が入所しております。私の理念は（家庭的な雰囲気の中で、親子、兄弟の精神で付き合う）事がモットーです。福祉に携っていくには、何か資格が必要だと思っていたところ「前橋在宅ケアネットワークの会」主催の三級ヘルパー講習会があると聞いて申し込み、今年七月に取得、その後二級ヘルパー講習があると聞き、挑戦するつもりです。利用者の方に一言書いて頂きました。

七月二十六日入所しました。最初は、不安でしたが、皆さんが親切、優しく世話をして下さいますので、今は暖かい家族の一員として楽しい日を過して居ます。感謝の気持ちで一杯です。

毎週日曜日には、田口町「ほたるの里」の隣接に遊び場に行き、うどん、そば、すいとんなど皆で作って食べた、鹿の「トネ」、馬の「太郎」と「花子」その他小鳥達が居ます。行く時に、人參をお土産に持って行くのが楽しみです。「トネ」は人參が大好きです。

希望（夢）は車椅子で自由に、動く事が出来たらいいなあーと思って居ます。（Sさん八十七才）

New Face 登場!

会員の自己紹介、活動アピール、全会員への呼びかけのページです。
(字数500字・写真1枚)
どしどしご投稿下さい。

七月二十七日に入所、私の他に一人入所しております。日当りの良い個室になっておりプライバシーが守れるし、又男性と女性の方がいて色々お話しして下さい、我が家に居るよう毎日が楽しいです。日曜日には、車であちこちへドライブに連れて行って下さいます。今までと違った世界にいるようです。現在通院中ですが、代表者の

金井さんの計いで病院の送迎もして下さい、心から感謝しております。一人でも多くの方が入所（お友達がこられる事）をお待ちして居ます。（Iさん女性）

他に職員の関口さん、田中さんの二人が利用者の方に、一日一日を楽しく過ごして頂くように、日々努力しています。お気軽に遊びに来て下さい。

お問合せ／前橋市岩神町三十一一〇
グループリビング岩神

TEL〇二七一一三七一五三六六
FAX〇二七一一三三三六八六八

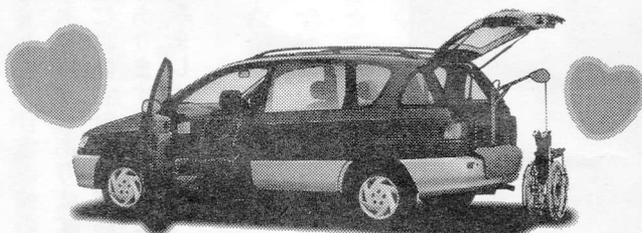
金井寝装

※只今、利用者募集中



幸せをあげる群馬トヨペットの福祉車両

乗る方に応じた使いやすさと優しい配慮で、豊富な車種とバリエーションをご用意しております。



写真はイブサムエルキャブタイプB

お客様相談フリーダイヤル ☎0120-29-5123
<http://www.toyota.co.jp/p-gunma/>

群馬トヨペット
本社 〒371-0841 前橋市石倉町2-6-5 TEL.027-251-5111(代)



都市と社の新世界へ

鎮守の社、里山の社、参道の並木。
「社(もり)」はいつも人々の暮らしに溶け込んだ癒しの場でした。これからの都市には、潤いと想いをもたらす「社」を身近に感じたい。私たちが常に追い求めるもの、それは、人にも環境にも貢献できる技術。そして、環境に負担をかけない技術を生み出すこと。
創業以来、私たちはさまざまな分野で環境関連技術を駆使し、地球にやさしい社会づくりに貢献してまいりました。自然との調和を目指して、都市と社の新世界へ。
総合環境エンジニアリングカンパニーへの新たな歩みがはじまります。



株式会社 ヤマト



群馬県前橋市古市町118番地 〒371-0844
TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896
URL <http://www.yamato-se.co.jp>
支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎
営業所/軽井沢、太田、伊勢崎、吾妻、熊谷、栃木市
付属施設/大和教育センター、大和環境技術研究所、大和分析センター

環境マネジメントの国際標準規格
ISO14001 認証取得

品質保証の国際標準規格
ISO 9001 認証取得

私たちは「前橋・在宅ケアネットワークの会」をささえています。
医療を通じ すみやすい まちづくり

「かかりつけ医」として健康と介護の相談に応じます

関 内 科 医 院

院長 関 清之
診療科目 内科

〒379-2154 前橋市天川大島町1-7-12
TEL 027-224-4680

富 沢 内 科 小 児 科 医 院

院長 富沢 隆
診療科目 内科・小児科

〒371-0841 前橋市石倉町2-7-4
TEL 027-251-4779 FAX 027-251-477

医療法人積心会富沢病院

理事長医師 富澤 政信
診療科目 整形外科・外科

〒371-0014 前橋市朝日町4-17-1
TEL 027-224-3955

豊 田 内 科 医 院

院長 豊田 武久
診療科目 内科・呼吸器科

〒371-0037 前橋市上小出町1-30-1
TEL 027-234-1223 FAX 027-234-122

前 橋 脳 神 経 外 科 病 院

院長 長屋 孝雄
診療科目 脳神経外科

〒371-0012 前橋市東片貝町720
TEL 027-221-8145 FAX 027-221-844

塙 医 院

院長 塙 光一
診療科目 アレルギー科・内科・小児科

〒371-0017 前橋市日吉町4-5-5
TEL 027-231-5348

早 川 医 院

院長 早川 眞一
診療科目 内科・小児科

〒370-0801 前橋市文京町1-46-6
TEL 027-221-6324 FAX 027-243-126

塚 田 医 院

院長 塚田 穰
診療科目 内科・胃腸科

〒371-0805 前橋市南町3-64-13
TEL 027-221-3155

富 沢 脳 神 経 外 科 医 院

院長 富沢 憲民
診療科目 脳神経外科

〒371-0031 前橋市下小出町2-13-10
TEL 027-234-3488

長 崎 医 院

院長 長崎 淳
診療科目 外科・内科

〒371-0021 前橋市住吉町2-12-5
TEL 027-231-3274

中 田 小 児 科 医 院

院長 中田 益允
診療科目 小児科・内科

〒371-0825 前橋市大利根町1-39-1
TEL 027-251-1360 FAX 027-252-336

富 士 ち ち ば な ク リ ニ ッ ク

院長 名倉 隆夫
診療科目 内科・循環器科

〒371-0042 前橋市日輪寺町342-2
TEL 027-230-1155 FAX 027-234-644

羽 生 田 眼 科 医 院

院長 羽生田 俊
診療科目 眼科

〒371-0022 前橋市千代田町2-10-13
TEL 027-232-1010 FAX 027-234-002

馬 場 内 科 医 院

院長 馬場 昇
診療科目 内科・循環器科

〒371-0007 前橋市上泉町101-1
TEL 027-223-5301

事務局からの お知らせ

二級ホームヘルパー 養成研修会

去年、今年と二級のホームヘルパー養成研修会を実施し総勢二八人全員が終了し他分野で活躍しております。

さて高齢者が年々増加する中において介護ニーズも多様化し、より適切なホームヘルプを提供することが重要になっていきます。知識、技能の習得をし資質の向上を図り、訪問介護員二級の資格を取得することを目的として左記のとおり計画しています。

- 一、開催予定期間
平成16年1月から4月
- 二、講習会場
前橋市日吉町二丁目17番地10
前橋市総合福祉会館 会議室
- 三、研修課程 合計三三時間

話し相手・聞き上手 講座開催予定

◎日 程 平成十六年一月十七日(土)
十三時三〇分〜十六時三〇分

◎場 所 前橋市総合福祉会館
第一会議室

◎参加費 五〇〇円
(会ボランティア登録者は無料)

◎対象者 本講座に関心のある方誰でも

講義五八時間、演習四二時間
実習三〇時間 その他 二時間
四、受講対象者

- 1、当会の会員で理事長が認め
た者
- 2、当会の活動に協力できる者
- 3、地域の活動等に参加する者
- 4、全日程を受講可能な者
- 五、定員 三〇人

今、事務局では、諸関係書類の準備中です。当初の開催日程は、十一月の予定でしたが諸般の都合にて、日程が遅れて、恐縮ですがご了承をお願い致します。なお、具体的にお知りになりたい方は事務局の飯島までご一報ください。

◎目的

- 1 「聞く」ことについて各分野から学ぶ
- 2 「軽ボラ」の担い手の学習の機会としていく(前橋市依託事業別紙参照)
- 3 話しあいボランティアへの関心を広める・担い手を増やす

◎定 員 五〇名

申し込みは…
会事務局〇二七―二三五一六二八三

事務局ボランティアさん紹介

樋口 信江さん

四十二年間勤務した市役所の退職者に、今年四月末より事務局のお手伝いをさせていただいています。「高齢者の住みやすいまちづくり」に共感し、この会が発足して間もない頃会員になり、ネットワークの会を身近に感じてきました。月、水の午後、ささえあいの発行や電話受付などの用務をしています。



編集後記

九月十四日、東地区と東部地区で実施したフリーマーケットは、準備期間が短かく、PR不足であったにもかかわらず、関係者の努力により成功裏に終了しました。

初めての開催でしたので、色々反省することもありますが、楽しい行事で得ることも多くあり、当会の年中行事にしてはいいかと考えています。

今年の八月に内閣府が調査したところによると、望ましい在宅介護は、

- ・家族だけでは 一二・一%
- ・家族中心でヘルパー支援四一・八%
- ・ヘルパー中心で家族 三一・五%
- ・ヘルパーだけ 六・八%

となっていて、前回の調査にくらべると、家族だけで介護するという回答は半分以下に減り、ホームヘルパーの有用性・重要性が、市民に十分認められてきています。前橋市でも、介護保険で一番多いのはホームヘルパーの利用でして、これからますますヘルパーへの需要が増えることでしょう。

二七号になりました。記事等に皆様
の提案・要望をお待ちしています。

(治)